

- 問1 バテレン追放令により、国外追放を命じられた者は何という？
- 問2 ルネサンスの文化運動によって発展し、大航海時代の到来を技術面から支えたものを何という？
- 問3 16世紀のヨーロッパで勢力を拡大し、カトリック教会の自己改革を促した宗派を何という？
- 問4 織田信長が楽市・楽座などの政策を実施し、天下統一の拠点として建設した地名を何という？
- 問5 ルネサンスにおいて復興させようとした、ギリシャやローマの過去の文化を何という？
- 問6 安土桃山時代に大名や豪商の富を背景として栄えた、豪華で力強い文化を何という？
- 問7 安土桃山時代から江戸時代にかけて、日本とポルトガルやスペインなどとの間で行われていた貿易を何という？
- 問8 15世紀末、喜望峰を経由してインドへ到達する航路を初めて開拓した国はどこ？
- 問9 安土桃山時代にキリスト教の布教とともに盛んになった、日本とヨーロッパ諸国との貿易を何という？
- 問10 1492年にスペインの支援を受けて大西洋を横断し、現在のカリブ海諸島に到達した航海者は誰？
- 問11 ルネサンスの中で注目され、中世の神中心の考え方から大きく変化した、個人の価値を認める考え方を何という？
- 問12 安土城など、近世の城郭に特徴的な、城の中央に高く建てられた建造物を何という？
- 問13 安土桃山時代に、千利休が大成させた、静かな空間で茶を楽しむ様子を何という？
- 問14 朝鮮出兵の際、日本に連れてこられ、九州地方を中心に有田焼などの優れた焼き物作りを始めた人々を何という？
- 問15 豊臣秀吉が全国統一を成し遂げ、権力の象徴としてその拠点を完成させた年は何年？
- 問16 安土桃山時代において、支配者の富と権力を内外に示すために豪華な装飾が施された建築物を何という？
- 問17 ヨーロッパ諸国が新しい航路を切り開き、海外進出が活発になった時代を何という？
- 問18 16世紀半ば、日本にキリスト教を伝えたフランシスコ・ザビエルなどが所属していたカトリック教団を何という？
- 問19 安土桃山時代に、農民から刀や鉄砲などの武器を没収した人物は誰？
- 問20 喜望峰経由の航路が開拓されたことで、ヨーロッパと直接貿易ができるようになった地域はどこ？
- 問21 16世紀に船隊を出し、人類史上初めて世界一周を達成した船隊を援助した国はどこ？

答え合わせ・解説

問1	答え 宣教師	宣教師（パテレン）は、日本で教会を建て、学校を設立してキリスト教の教えを広めました。しかし、秀吉は日本人が信徒になることや、寺院が破壊されるなどの影響を嫌い、彼らを国外へ追い出しました。
問2	答え 科学技術	この流れの中で、天文学、航海術、造船術などが飛躍的に発展しました。特に、羅針盤の改良や海図の作成は、遠洋航海における正確な位置把握を可能にし、未知の航路開拓を後押ししました。
問3	答え プロテスタント	16世紀、ドイツのルターらが始めた宗教改革により、多くの信者がカトリック教会から離脱し、新たにプロテスタントとして結集しました。これに対抗するため、カトリック教会内部でも自己改革が進められ、イエズス会による海外への布教活動が活発化しました。
問4	答え 安土	信長は、既存の権力構造を打破し、経済を発展させるために安土城を建設しました。安土は現在の滋賀県に位置し、そこには楽市・楽座が敷かれました。この場所で試みられた政策は、のちの城下町のモデルとなりました。安土の地は、日本史上最初の本格的な近世城郭の建設地として、当時の政治・経済の中心地として栄えました。
問5	答え 古典文化	ルネサンスでは、それまで顧みられていなかった古代ギリシャ・ローマの文学や哲学、美術を再発見し、そこにある「人間らしさ」を学び直すという動きが起こりました。これは単なる模倣ではなく、新しい表現を生み出すためのエネルギーとなりました。
問6	答え 桃山文化	桃山文化は、大名や豪商の経済力を背景に発展した、華やかで力強い文化です。城郭建築が盛んになり、内部には狩野派による豪壮な障壁画が描かれました。茶の湯が武士のたしなみとして定着し、千利休によってわび茶が完成するなど、文化の幅が大きく広がったのもこの時代です。
問7	答え 南蛮貿易	日本は銀や銅を輸出し、代わりに鉄砲、火薬、生糸、キリスト教などを輸入しました。特に石見銀山などで産出された銀は世界的に高く評価され、日本は世界有数の銀の生産国として国際的な経済ネットワークに組み込まれました。この貿易によって西洋文化が急速に流入し、当時の生活や技術に大きな影響を与えました。
問8	答え ポルトガル	王子エンリケによる航海事業の支援などを経て、探検家たちは着々とアフリカ南下を進めました。ついに1498年、バスコ・ダ・ガマが喜望峰を回ってインドのカリカットに到達し、アジアへの直接航路を確立しました。
問9	答え 南蛮貿易	南蛮貿易は、おもにポルトガル人やスペイン人との間で行われました。日本からは銀や工芸品が輸出され、日本には鉄砲（火縄銃）やキリスト教、活版印刷機、タバコなどがもたらされました。当時の武将たちは、新しい軍事技術である鉄砲の入手に非常に意欲的でした。
問10	答え コロンブス	コロンブスは地球が丸いという考えに基づき、西回りで大西洋を渡ればインドにたどり着けると主張しました。スペインの女王の支援を得て航海に出た彼は、1492年に現在のカリブ海諸島に到達しました。彼は最期までそこをインドの一部だと信じていたといわれています。
問11	答え 人間性	ルネサンスにおいて、人間は本来自由で創造的な力を持つ存在であるとする「人間中心主義」が提唱されました。個人の能力や美意識を重視するこの思想は、絵画、彫刻、文学といった分野で独自の個性を表現することにつながりました。
問12	答え 天守	天守は城のシンボルとして、遠くからでも見える高い場所に建てられました。織田信長が築いた安土城の天守は、非常に豪華で独創的な外観を持ち、後の近世城郭の基準となりました。
問13	答え わび茶	千利休は、限られた道具の中で心の交流を大切に「わび茶」を完成させました。質素ながらも洗練された美意識は、当時の戦国武将たちの間でも高く評価されました。
問14	答え 陶工	特に九州の大名たちは彼らを保護し、磁器の原料となる陶石を探させました。その結果、佐賀県の有田などで磁器の生産が始まり、後の有田焼や伊万里焼といった世界的に有名な日本の陶磁器ブランドの基礎が築かれました。
問15	答え 1590年	1590年、秀吉は小田原城を包囲して降伏させ、これにより全国統一を達成しました。この後、全国に検地を命じたり、刀狩令を出して兵農分離を強制するなど、全国規模での支配体制を確立しました。自身の権威を内外に示すための政治拠点として、大坂城などの整備も急速に進められました。
問16	答え 城郭	安土桃山時代の城郭は、高い石垣や天守閣を備えた壮大な建築物であり、内部には金箔を貼った障壁画などが飾られました。豊臣秀吉の大坂城などが代表的で、当時の高い建築技術や芸術性を伝えています。
問17	答え 大航海時代	羅針盤の改良や造船技術の向上を背景に、ポルトガルやスペインの船乗りたちが喜望峰経由や西回り航路を開拓しました。これにより、遠く離れた地域間での直接貿易が可能になり、キリスト教の布教も世界規模で拡大しました。
問18	答え イエズス会	16世紀、大航海時代を経て欧州から宣教師たちが日本へ訪れました。彼らが所属していたイエズス会は、キリスト教の布教を積極的に行いました。その活動は、キリスト教の普及だけでなく、南蛮貿易の窓口ともなりました。のちに豊臣秀吉によるパテレン追放令などの弾圧を受けますが、当時の日本と西洋の文化・経済交流において多大な影響を与えました。
問19	答え 豊臣秀吉	豊臣秀吉は1588年に刀狩令を発し、農民から武器を取り上げて一揆を防ぐとともに、武士と農民の身分をはっきりと分ける兵農分離を強かに推進しました。
問20	答え アジア	喜望峰を通るルートの発見により、ヨーロッパの商船は直接アジアの港に寄港できるようになりました。これにより輸送コストが下がり、効率的な物流網が構築されました。
問21	答え スペイン	マゼランはスペイン王カルロス1世の支援を受けて、西回りでアジアを目指す航海に出発しました。南米の海峡（現在のマゼラン海峡）を抜け、太平洋を渡る過酷な航海を経て、1522年に残りの船がスペインへ帰還しました。